

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成19年3月2日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費は一部に回復の動きが見られるが、総じて弱い動きとなっている。
大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を上回った。(12月)
新設住宅着工戸数は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を下回った。(1月)
- **産業面**・・・おおむね横ばいとなっている。
鉱工業生産指数が電気機械工業等の減により前月を下回った。(12月)
- **雇用面**・・・横ばいからやや弱い動きとなった。
所定外労働時間は前年を上回り、現金給与総額は前年を下回った。(12月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。(1月)

○需要面の動き

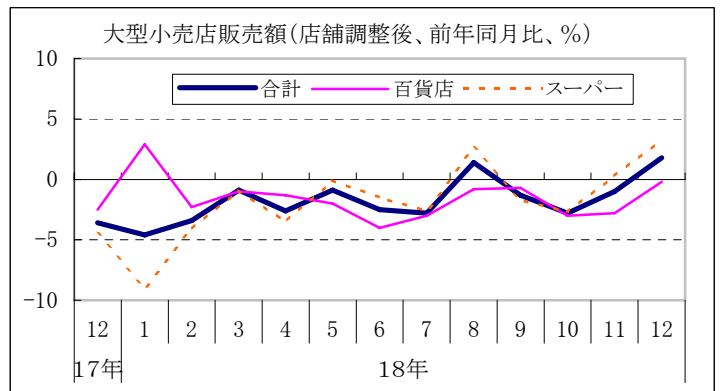
大型小売店販売額(12月)

全店舗の販売額は、70億1,467万円(前年同月比1.8%増)と17か月ぶりに前年を上回り、店舗調整後でも4か月ぶりに前年を上回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	701,467	1.8 (1.8)
百貨店	307,449	▲0.2 (▲0.2)
スーパー	394,018	3.3 (3.3)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(12月)

46億4,406万円(前年同月比0.9%増)と2か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(1月)

1,402台(前年同月比2.0%減)と7か月続いて前年を下回った。
これは、小型車(前年同月比18.7%減)が減少したことによる。

新設住宅着工戸数(1月)

199戸(前年同月比55.5%増)と2か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、貸家の増加(前年同月比120.0%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(1月)

12億707万円(前年同月比17.7%減)と2か月ぶりに前年を下回った。用途別では、医療、福祉用(前年同月比69.9%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(1月)

57億7,300万円(前年同月比17.7%減)と2か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国の減(前年同月比49.6%減)が大きな割合を占めた。

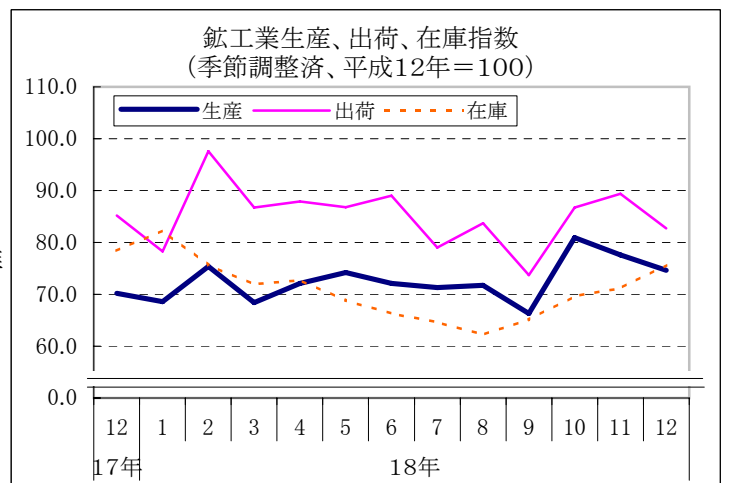
○産業面の動き

鉱工業指数(12月)

生産指数(季節調整済)が74.6となり、前月比は3.9%下落し、原指数では77.6となり、前年同月比で5.6%上昇した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が液晶素子等の生産減により9.2%低下、食料品・たばこが7.1%低下、一般機械が28.3%上昇、繊維が4.2%低下した。

在庫指数(季節調整済)は75.6と前月比6.2%上昇した。



大口需要電力実績(12月)

141,240千kwh(前年同月比3.4%増)と3か月続いて前年を上回り、鉱工業はパルプ・紙等で増となり5.4%増加した。

青果物卸売量(1月、鳥取市場)

野菜が1,275t(前年同月比2.7%増)と2か月続いて前年を上回り、果実は685t(前年同月比9.6%減)と8か月続いて前年を下回った。

漁獲量(1月、境港)

12,885t(前年同月比44.6%増)と6か月続いて前年を上回った。

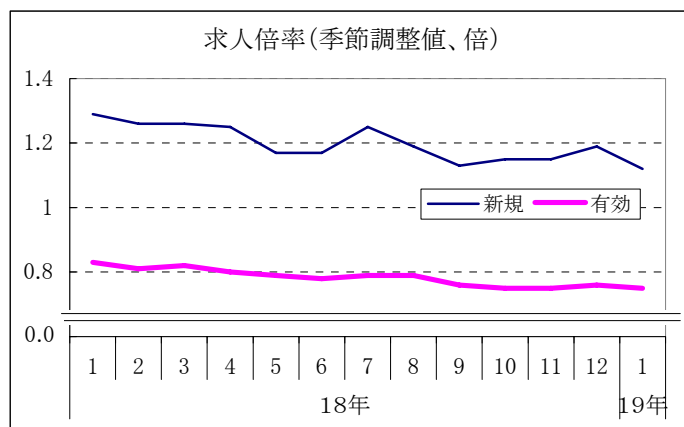
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(1月)

1.12倍(前月差0.07ポイント低下、前年同月差0.17ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、4,214人で前年同月比9.0%の減であった。

有効求人倍率(1月)

0.75倍(前月差0.01ポイント低下、前年同月差0.08ポイント低下)と8年11か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(12月)

579,237円(前年同月比0.8%減)と6か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,549円で6か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(12月)

9.9時間(前年同月比3.2%増)と2か月ぶりに前年を上回った。主力の製造業は4.6%減となった。実数による前年同月比では、教育、学習支援業(前年同月比220.0%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比45.9%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(12月末)

預金残高は、1兆8,524億円(前年同月比0.7%増)と4か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,590億円(前年同月比3.0%減)と4か月続いて前年を下回った。

○参考

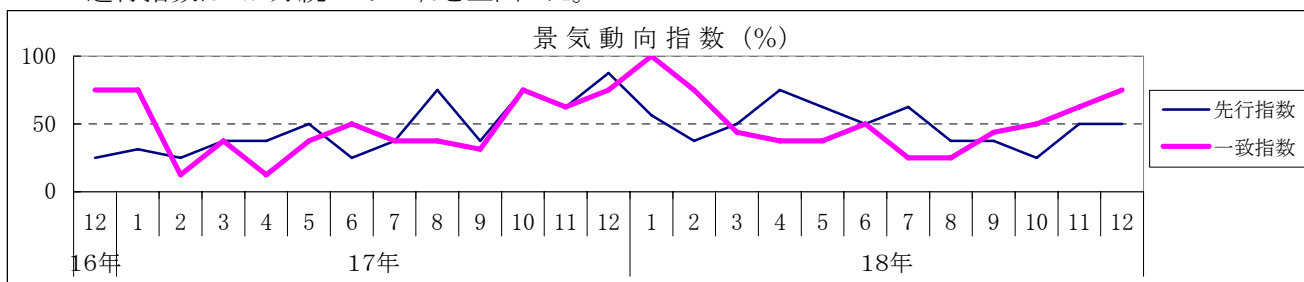
鳥取県景気動向指数(12月)

先行指数50.0%、一致指数75.0%、遅行指数58.3%となった。

先行指数は2か月続いて50%となった。

一致指数は2か月続いて50%を上回った。

遅行指数は3か月続いて50%を上回った。



企業倒産(1月)

件数は5件で前年と同数、負債総額は4億3,500万円(前年同月比90.9%減)で3か月続いて前年を下回った。

消費者物価指数(1月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.2となり、前月と同水準、前年同月比(0.8%下落)は5か月続いて下落した。

鳥取県の推計人口(2月1日現在)

603,218人で、前月と比べて425人(0.07%)減少し、前年同月と比べて3,092人(0.51%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年2月調査)

平成19年4～6月期は、平成19年1～3月期に比べると景気はやや好調であるが、売上高、経常利益はやや不調となる見通しとなっている。